

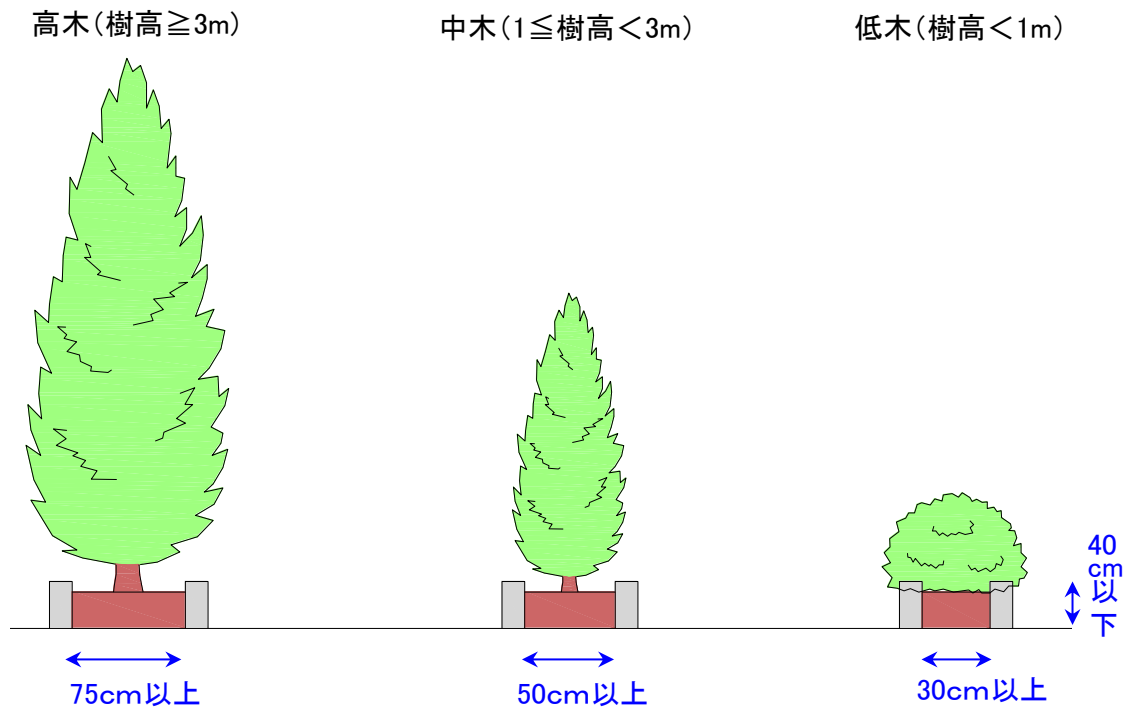
接道部緑化基準の運用

(条例別表第4の16建築行為を伴わない土地利用の項のアの規定で定める道路境界線沿いの緑化)

接道部緑化とは

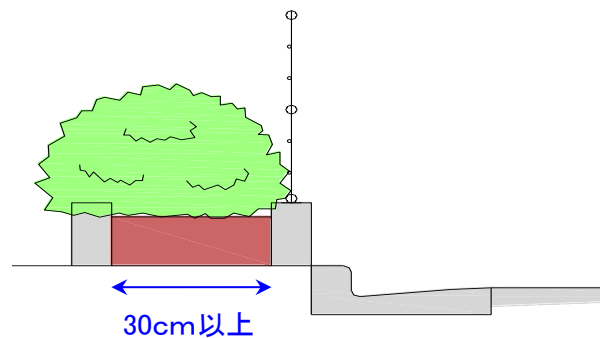
接道部緑化とは、道路境界に、以下の条件で樹木を植えた場合が対象となります。

1 樹木に応じた土幅の確保

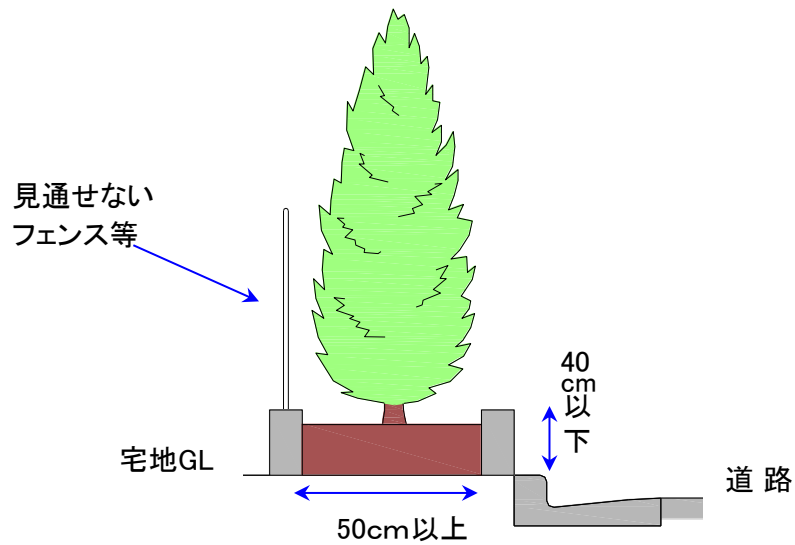


2 道路側植栽地での縁石高は建築地盤面(GL)から40cm以下とし、フェンスを設置する場合は、次のとおりとします。

(1) 駐車場等で道路側に設置する場合は、見通しの良いものとし、樹木は低木とします。



(2) 資材置場等で見通せないフェンス等を設置する場合は、自己の敷地側とし、樹木は、原則として中木又は高木とします。



3 植栽地での植え付け本数は、下記の式により求めます。

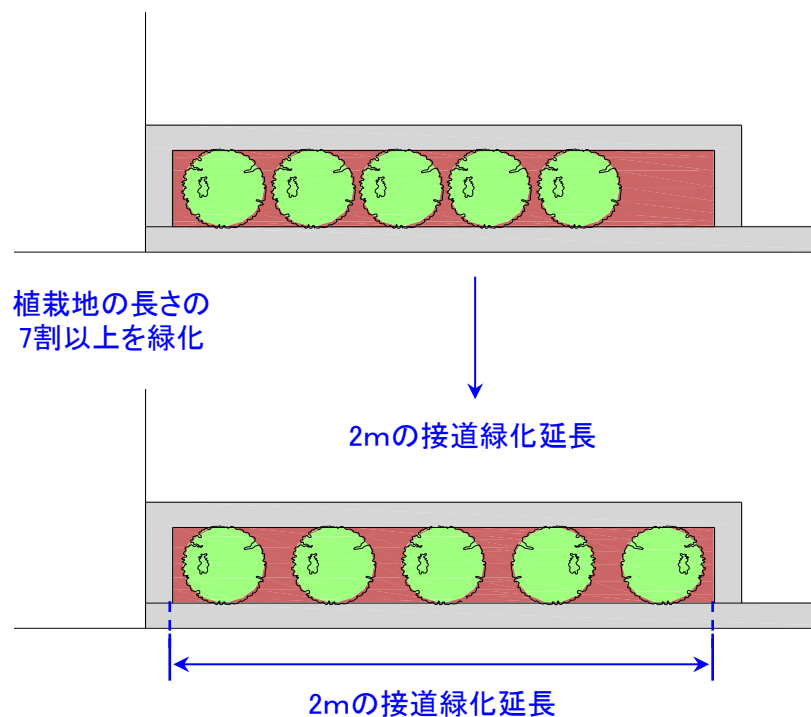
植栽地の長さ(※) × 0.7 ÷ 樹種に応じた最低土幅 ≤ 必要植栽本数

※植栽地の長さは外構(ブロック等)を除く

(例)2mの植え込みに低木(土幅 0.3m)を植える場合

$$2.0\text{m} \times 0.7 = 1.4$$

$$1.4\text{m} \div 0.3 = 4.6 \rightarrow 5\text{本}$$



4 下記の場合は、接道部緑化の対象になりません。

